

甲賀広域行政組合消防本部管内における熱中症に伴う救急概要

令和3年8月15日現在

1 熱中症

熱中症とは、暑さや熱の影響による生体への障害の総称であり、正確には、日射病、熱痙攣、熱疲労、熱射病の4つに分類されます。

熱疲労は、入院が必要となる場合があります、熱射病は、重症化することがあります。

2 調査期間

毎年、消防庁から「夏期における熱中症による救急搬送人員数」について調査依頼があり、令和3年の調査期間は4月26日から10月3日までとなっています。

今回の熱中症に伴う救急搬送等の情報は、昨年と同様に令和3年5月1日から8月15日までの情報を取りまとめたものです。

3 熱中症に伴う救急出動件数及び搬送人員

令和3年8月15日現在の熱中症に伴う救急出動件数は、48件であり、前年と比べ7件減少しています。

構成市・管轄消防署別の件数は、甲賀市33件（水口消防署17件、土山分署4件、甲南消防署7件、甲賀分署4件、信楽消防署1件）、湖南市15件（湖南中央消防署9件、湖南石部分署6件）、新名神高速道路0件、名神高速道路0件となっています。搬送人員は、48人となっています。

4 事故種別

事故種別による出動件数は、急病が30件で全体の約62%と最も多く、次いで労働災害10件（約21%）、運動競技8件（約17%）、転院搬送0件となっています。

5 月別出動件数

月別出動件数は、7月（24件）が最多となっており、次いで8月（15日現在1

4件)、6月(7件)、5月(3件)となっています。

6 令和3年における熱中症の傾向

近畿地方の梅雨明けが発表された令和3年7月17日から8月15日までの22日間は、最高気温が30℃を超える日が多く、内2日間は最高気温が35℃を超える猛暑日でした。

気温が30℃を超えると熱中症の発生件数が増加する傾向にあります。

気温は8時頃から上がりはじめ、20時頃まで30℃を超える高い気温が続く状態です。

気温が高くなる8時から20時までの間は、熱中症の発生件数が46件(熱中症総件数48件)と多くなっています。また、傷病程度についても同時間帯において、軽症44件(軽症総数46件)、中等症2件(中等症総数2件)となっています。

年齢別に見ると、成人(15歳以上)の発生件数は45件であり、全体の約94%を占めています。

成人の内、65歳未満の割合は約47%、高齢者(65歳以上75歳未満)の割合は約15%、後期高齢者(75歳以上)の割合は約38%となっています。

傷病程度別で見ると、軽症46件、中等症2件となっており、中等症2件については後期高齢者となっています。

7 まとめ

熱中症の発症は、気温が上昇する8時頃から増加する傾向があり、気温が下がっても、その余熱が夜間又は翌日以降にも影響し熱中症が発生しやすい傾向が表れています。特に高齢者、後期高齢者は、気温の変化による体の異変に気付きにくく、また、加齢による体の衰えが原因で熱中症になりやすい傾向にあります。さらに軽症であった場合でも、中等症、重症へと移行する可能性があるため注意が必要です。

今年新型コロナウイルスの感染防止として、3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、3密(密集、密接、密閉)を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実践することが求められています。

夏期の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。このため、屋外で人と十分な距離（少なくとも2 m以上）が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクを外すように心掛ける必要があります。

また、マスクを着用している場合は、強い負荷の作業・運動は避け、のどが渴いていなくてもこまめな水分補給が必要です。

3密（密集、密接、密閉）を避けつつも、熱中症になりやすい高齢者、子ども、障がい者への目配り、声掛けをするようにしましょう。

最後に、令和3年5月1日から8月15日までの熱中症に伴う出動件数は、前年同月と比べ7件の減少となっていますが、今後も真夏日が予想され、熱中症には厳重な注意が必要です。予防対策をしっかりと心掛けるようにしましょう。

甲賀広域行政組合消防本部管内の熱中症における救急搬送事例と予防対策

住居等の屋内で熱中症になった事例

- 扇風機しかない部屋におり、発熱及び呼吸苦症状のため救急要請
(令和3年7月 80歳男性 軽症 最高気温30.9℃ 湿度62.4%)
- 高温多湿の室内におり、水分が摂れておらず呼吸苦症状のため救急要請
(令和3年7月 96歳女性 軽症 最高気温30.8℃ 湿度65.0%)
- エアコンをつけずに就寝後、気分不良により救急要請
(令和3年7月 62歳男性 軽症 最高気温33.4℃ 湿度53.0%)

道路上で熱中症になった事例

- 歩行中、意識消失により救急要請
(令和3年7月 89歳男性 軽症 最高気温32.2℃ 湿度36.9%)
- 自転車を運転中、気分不良により救急要請
(令和3年8月 84歳男性 軽症 最高気温34.0℃ 湿度52.5%)

屋外の作業により熱中症になった事例

- 木材運搬作業中、意識消失により救急要請
(令和3年7月 36歳男性 軽症 最高気温35.6℃ 湿度59.4%)
- 洗車作業中、気分不良により救急要請
(令和3年7月 65歳男性 軽症 最高気温34.9℃ 湿度55.0%)

屋外で運動中に熱中症になった事例

- サッカーの練習中、気分不良及び四肢の違和感により救急要請
(令和3年6月 17歳男性 軽症 最高気温27.5℃ 湿度43.6%)
- 陸上競技の練習中、気分不良により救急要請
(令和3年8月 17歳男性 軽症 最高気温32.1℃ 湿度64.9%)

屋内における予防対策

- 屋内では、窓を開けて風通しを良くしたり、エアコン、扇風機等を積極的に使用し、高温多湿な環境を作らないようにしましょう。
- こまめに水分、塩分を補給しましょう。特に子ども、高齢者、障がい者には、周囲の方による事前のサポートが必要であり、喉の渇きを感じる前にこまめに水分、塩分補給を促すことが重要です。
- 新型コロナウイルス感染症を予防するためには、冷房時でも換気扇や窓開放によって換気を確保する必要があります。この際、室内温度が高くなるので、熱中症予防のためエアコンの温度設定をこまめに調整しましょう。

屋外における予防対策

- のどが渇いていなくても、こまめに水分、塩分補給をしましょう。
- 屋外では日傘、帽子等を使用し、できるだけ直射日光を避けましょう。
- 風通しの良い服装等を心がけ、体に熱を溜めこまない工夫をしましょう。
- 指導者等は、のどの渇きを感じる前にこまめに水分、塩分補給を促すことが重要です。積極的、計画的に休憩を取らせるようにして、体調の変化を見逃さないようにしましょう。
- 人と十分な距離（少なくとも2 m以上）が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクを外すようにしましょう。

熱中症警戒アラートの活用

令和3年4月28日から全国で運用開始となった「熱中症警戒アラート」を活用しましょう。熱中症警戒アラートが発令された場合は熱中症対策をより徹底することが重要になります。本消防本部ホームページにも詳細が掲載されています。

熱中症に伴う救急出動状況

区分		年別等	令和2年	令和3年	前年比増減
			5月1日～ 8月15日 (107日間)	5月1日～ 8月15日 (107日間)	
出 動 件 数			55	48	△ 7
搬 送 人 員			55	48	△ 7
種 別 (件)	労 働 災 害		15	10	△ 5
	運 動 競 技		2	8	6
	急 病		36	30	△ 6
	転 院 搬 送		2	0	△ 2
1 日 平 均 の 出 場 件 数			0.5	0.4	△ 0.1
1 日 平 均 の 搬 送 人 員			0.5	0.4	△ 0.1
1 ヶ 月 平 均 の 出 場 件 数			13.8	12.0	△ 1.8
1 ヶ 月 平 均 の 搬 送 人 員			13.8	12.0	△ 1.8

△は減を表す。

令和3年 構成市・管轄消防署別救急出動状況(熱中症)

※令和3年8月15日現在

市署別 区分		甲 賀 市					湖 南 市		高速道路		管轄外	合 計
		水口消防署	土山分署	甲南消防署	甲賀分署	信楽消防署	湖南中央消防署	湖南石部分署	新名神	名神		
労働災害	出動件数	1		1	1		2	5				10
	搬送人員	1		1	1		2	5				10
運動競技	出動件数	5		1			2					8
	搬送人員	5		1			2					8
急 病	出動件数	11	4	5	3	1	5	1				30
	搬送人員	11	4	5	3	1	5	1				30
転院搬送	出動件数											0
	搬送人員											0
小 計	出動件数	17	4	7	4	1	9	6				48
	搬送人員	17	4	7	4	1	9	6				48
合 計	出動件数	33					15		0	0		48
	搬送人員	33					15		0	0		48

令和3年 月別救急出動状況（熱中症）

※令和3年8月15日現在

種別 月別区分		労働災害	運動競技	急病	転院搬送	合計
		5月	出動件数		2	1
	搬送人員		2	1		3
6月	出動件数	2	1	4		7
	搬送人員	2	1	4		7
7月	出動件数	6	4	14		24
	搬送人員	6	4	14		24
8月	出動件数	2	1	11		14
	搬送人員	2	1	11		14
9月	出動件数					0
	搬送人員					0
合計	出動件数	10	8	30	0	48
	搬送人員	10	8	30	0	48

令和3年 時間帯別救急出動状況及び傷病程度等（熱中症）

※令和3年8月15日現在

種別 時間	労働災害	運動競技	急病	転院搬送	合計	年齢別					時間帯別傷病程度					
						新生児	小児	成人			合計	軽症	中等症	重症	死亡	合計
								16歳以上	67歳未満	75歳以上						
0時～2時					0						0					0
2時～4時					0						0					0
4時～6時					0						0					0
6時～8時					0						0					0
8時～10時		1	1		2			1		1	2	2				2
10時～12時	4	1	5		10			4	3	3	10	9	1			10
12時～14時	2	3	10		15		1	7	1	6	15	14	1			15
14時～16時	3	3	6		12		2	6	1	3	12	12				12
16時～18時	1		3		4			1	1	2	4	4				4
18時～20時			3		3			1		2	3	3				3
20時～22時			1		1				1		1	1				1
22時～24時			1		1			1			1	1				1
合計	10	8	30	0	48	0	3	21	7	17	48	46	2	0	0	48
傷病程度	軽症	10	8	28		46		3	21	7	15	46				
	中等症			2		2					2	2				
	重症					0					0	0				
	死亡					0					0	0				

※出動件数1件に対し、搬送人員1人と
なっています。

令和3年5月1日～8月15日 搬送人員・気温別グラフ

